

横浜市はスタートアップ・エコシステム拠点都市 「グローバル拠点都市」に選定されました。



横浜市はこのたび、国（内閣府）が公募していた「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略※1」について、東京都をはじめ、自治体・企業・団体等と連携した、スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムの一員として、「グローバル拠点都市」に選ばれました。

今後は国の後押しをいただきながら、本市のリソースやポテンシャルを最大限活用し、世界で活躍するスタートアップの輩出をめざし、一層の取組を推進していきます。

<林 文子 横浜市長コメント>

このたび、国の「グローバル拠点都市」に選定され、大変光栄です。「SDGs 未来都市」の取組と連携させ、新たな社会課題の解決を目指して、横浜から次世代産業を生み出してまいります。

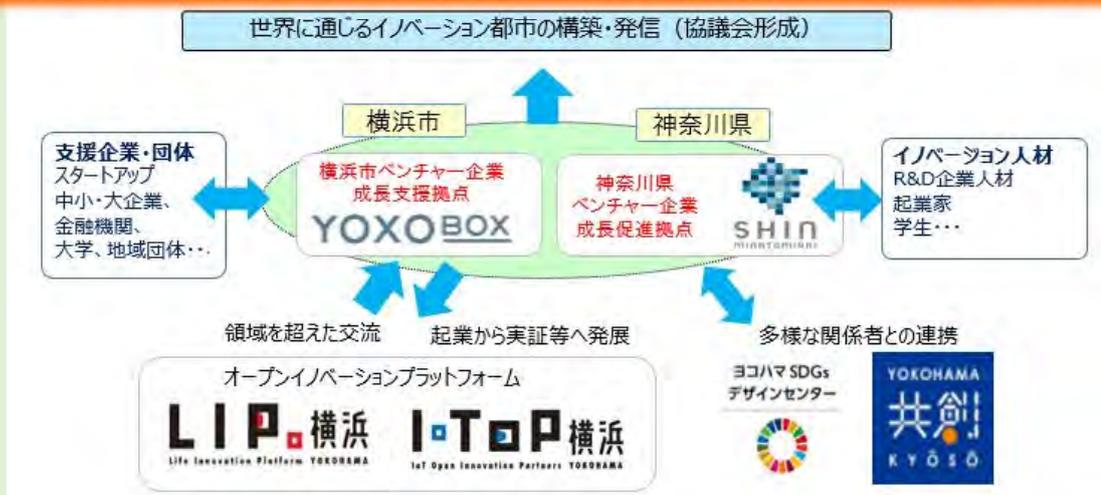
横浜市は、2019年1月に「イノベーション都市・横浜」を宣言し、オープンイノベーションやスタートアップ支援に力を注いでまいりました。みなとみらい21地区には、資生堂様や京セラ様のイノベーションセンターの開所など、グローバル企業のR&D拠点が集積しています。また、ベンチャー企業成長支援拠点「YOXO BOX」を開設したほか、企業・大学・研究機関が参画するオープンイノベーションも積極的に進めています。選定にあたっては、こうしたオール横浜の取組やビジョンをご評価いただいたものと思います。

このたびの選定を契機に、国とさらに連携し、横浜から世界へ羽ばたく新たなスタートアップの存在を国内外に発信することで、「イノベーション都市・横浜」を実現してまいります。

<本市の提案の概要>

「イノベーション都市・横浜」を成長戦略の柱に位置付け、ベンチャー企業（スタートアップ）成長支援拠点「YOXOBOX」をハブとして I・ToP 横浜、LIP横浜といったオープンイノベーションの取組を生かし、神奈川県と連携して、まちぐるみのスタートアップ支援・新ビジネス創出のコミュニティ形成を進め、横浜ならではの人・企業・投資を呼び込むエコシステムを構築します。

グローバル拠点都市「イノベーション都市・横浜（YOXO）」のエコシステム



<スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアムについて>

スタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市としての地位を確立させることで、国際競争力の強化、スタートアップの創出や成長、ひいては東京圏の経済の持続的な発展を実現し、また、スタートアップ・エコシステムによるイノベーションを社会に実装し、地域に還元する活動を目指す。

（事務局）東京都 （参画団体）民間団体・事業者・大学等
（広域連携団体）横浜市、川崎市、和光市、茨城県、つくば市

※1 国の進める「世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成戦略」について

我が国の強みである優れた人材、研究開発力、企業活動、資金等を生かした世界に伍する日本型のスタートアップ・エコシステム拠点の形成と発展を目指す。このために、一定の集積、潜在力を有する都市で、地方自治体、大学、民間組織等がスタートアップ・エコシステムの形成に取り組む拠点形成計画を認定し、当該拠点都市に対して政府、民間サポーターによる支援を実施する。

※国は、グローバル拠点都市として全国で4か所選定しました。

YOXO の取組について

◆イノベーション都市・横浜◆

横浜市は、平成31年1月に、新たなイノベーションを横浜から創出していく、「イノベーション都市・横浜」を宣言しました。これまでに、みなとみらい地区の研究開発拠点をはじめ、様々な民間企業や、大学等によりイノベーション人材の交流機会が形成されています。今後、この取組を更に大きなムーブメントとしていくため、「イノベーション都市・横浜」の象徴となるロゴマーク YOXO（よくぞ）を決定しました。ロゴマークをシンボルとして、新たなビジネスを生み出す環境を作ります。

◆YOXO BOX◆

令和元年、関内にベンチャー企業（スタートアップ）成長支援拠点として、「YOXO BOX（よくぞボックス）」を設置しました。YOXO BOXは、本拠点が横浜に新しい交流を生み出すためのサンドボックス（砂場=実験場）となるという意味を込めて命名しました。YOXO BOXでは、「イノベーション都市・横浜」の推進に向け、スタートアップを対象とした YOXO アクセラレータープログラムやスタートアップ支援の専門家による個別相談などを実施しています。（場所：横浜市中区尾上町一丁目6番 ICON 関内1階）



横浜をクロスオーバーする。
イノベーションが起こる。

横浜から160年。
横浜は、メディア、エネルギー、文化など
数々のイノベーションを
異分野との交流から生み出してきた。

そして今、
横浜は、組織や領域を超えて、
新たなクロスオーバーを生み出す
イノベーション都市へ進化する。
YOXO（よくぞ!）と謳えられる
未来への挑戦者たちのために。



お問合せ先

経済局 新産業創造課長

高木 秀昭

Tel 045-671-3913

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。